

●シリーズ 新しい家づくりのカタチ

中古住宅を動かす仕組み

耐震補強部材の開発・販売を手がける(株)エイム(埼玉県川口市、西生健社長 048・224・8160)はこのほど、中古住宅の新たな仲介サービス「リニュアル仲介」の提供を始めた。地域の不動産仲介業者を窓口に、建物調査、リフォーム、住宅ローン契約、維持管理までをワンストップでできる体制を整える。今後不動産仲介業者の登録を進める。

エイムが今年9月から本格稼動する中古住宅流通サービス「リニュアル仲介」の流れ

- 1 購入したい物件を探す
 - 2 リニュアル仲介ネットワークの不動産会社に訪問する
 - 3 資金計画(ファイナンシャルプラン)を立てる
 - 4 購入予定物件のインスペクション(建物調査)を行う(無料)
 - 5 購入物件の決定
※購入予定物件決定後、正式な耐震・劣化診断を行う
 - 6 好きな形でのリフォームプランを検討する
※総合リフォームプランを決定(10年間0.3%金利優遇プランの提案)
 - 7 工事契約の締結
 - 8 物件売買契約の締結
 - 9 リフォーム実施
 - 10 住宅ローン契約
※日本モーゲージサービスより融資代金の支払
 - 11 引き渡し・入居
※住宅登記書への登録
※長期修繕計画の立案
 - 12 住宅ローン控除適用

サードの具体的な流れは次のとおり。
物件購入を検討する買い手は、登録不動産仲介業者を通じて、2件まで無償で建物の調査が受けられる。
調査は、日本木造住宅耐震補強事業者協同組合（木耐協）で研修・講習を受けた建築士が行う。買い手はそれを参考に物件を決めること。

その後買い手は希望するリフォーム内容を仲介業者に伝え、売り手にリフォームを発注してもらう形とする。

通常、中古住宅購入でローンを組んだ後に35〔S〕に一本化できる。

や実績に優れる30社が建物調査、耐震基準適合書の発行、リフォーム工事を請け負う。融資可能金額の事前審査など資金計画のアドバイスは日本モーゲージサービスが無償で行う。「ラッピングローン」の完成保証、長期修繕計画

計画。現在すでに都内の中古マンションで案件がすんでいる。西生健社長は「これまで中古住宅は安心な取引ができる、設計・工事・流通の過程で余計な費用がかかつっていた。不動産仲介業者を窓口として、中古住宅でも付加価値の高い取引サービスをワンストップで提供し、中古住宅市場を活性化したい」と話している。

の提案、5年間毎年無料点検の実施と履歴登録、住宅履歴書「S.M.I.L.E(スマイル)」の自動登録、24時間・365日緊急電話受付・緊急出動サービスなどを受けられる。

物件検討からアフターまで
ワンストップ対応

物件購入とリノベーションの「一連を一括(セミ)」に一本化

卷三

むと高金利になると、(S)に一本化が、フラット35でコストを削減することでコストメリットが生まれる「囲み」。同社では「ローン一本化で総支払い額が低減でき、長期ローンも可能になる」とする。

通常より500万円以上のお得に!?リニューアル仲介のコストメリット

【例】2800万円の中古物件を買って、700万円のリフォームをした場合 「住宅ローン」と「リフォームローン」を分けて組む場合	
中古物件 2800万円 資金計画(住宅ローン)	リフォーム物件 700万円 資金計画(リフォームローン)
毎月の返済額 120640円 【借入期間35年・金利(固定)3.8%】	+ 毎月の返済額 78773円 【借入期間35年・金利(固定)6.3%】

毎月の経済指標 1994.1-3月

中古物件 2800万円	リノベーション物件 700万円
資金計画(住宅ローン)	資金計画(住宅ローン)
毎月の返済額 103503円 【借入期間35年・金利(固定)2.82%】	毎月の返済額 26164円 【借入期間35年・金利(固定)2.82%】
+ 每月の返済額 毎月の返済額 の差額	

毎月の返済額12988円

【総返済額シミュレーション】「住宅ローン」「リフォームローン」を分けて組む場合		=金利の計算は上記数字を参照
中古物件	2800万円	リフォーム物件 700万円
金利	22668984円	+ 金利 2452773円
= 元金 35000000円 金利 25121757円		
【総返済額シミュレーション】「リニューアル仲介」の場合		=金利の計算は上記数字を参照
中古物件	2800万円	リフォーム物件 700万円
金利	15191035円	+ 金利 4021334円
		= 元金 35000000円 金利 19212368円
[出所：エイム パンフレット]		

[出所：エイム
パンフレット]